



平成28年3月期 第1四半期決算短信〔IFRS〕(連結)

平成27年7月30日

上場会社名 武田薬品工業株式会社  
 コード番号 4502 URL <http://www.takeda.co.jp>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長CEO  
 問合せ先責任者 (役職名) グローバルファイナンスIRヘッド  
 四半期報告書提出予定日 平成27年8月10日  
 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有  
 四半期決算説明会開催の有無 : 有

上場取引所 東名札福

(氏名) クリストフ ウェバー  
 (氏名) 樋口 典子

TEL 03-3278-2306

(百万円未満四捨五入)

1. 平成28年3月期第1四半期の連結業績(平成27年4月1日～平成27年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上収益		営業利益		税引前利益		四半期利益		親会社の所有者に帰属する四半期利益		四半期包括利益合計額	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28年3月期第1四半期	446,295	8.5	49,559	△22.2	48,721	△18.8	25,429	△25.9	24,583	△26.4	120,383	—
27年3月期第1四半期	411,148	0.2	63,689	11.3	59,989	7.4	34,310	△6.2	33,399	△7.1	1,633	△98.8

	基本的1株当たり四半期利益	希薄化後1株当たり四半期利益
	円銭	円銭
28年3月期第1四半期	31.32	31.12
27年3月期第1四半期	42.40	42.36

(2) 連結財政状態

	資産合計	資本合計	親会社の所有者に帰属する持分	親会社所有者帰属持分比率	1株当たり親会社所有者帰属持分
	百万円	百万円	百万円	%	円銭
28年3月期第1四半期	4,320,850	2,231,621	2,165,238	50.1	2,764.54
27年3月期	4,296,192	2,206,176	2,137,047	49.7	2,719.27

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円銭	円銭	円銭	円銭	円銭
27年3月期	—	90.00	—	90.00	180.00
28年3月期	—	—	—	—	—
28年3月期(予想)	—	90.00	—	90.00	180.00

(注)直前に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成28年3月期の連結業績予想(平成27年4月1日～平成28年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上収益		営業利益		税引前利益		親会社の所有者に帰属する当期利益		基本的1株当たり当期利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円銭
通期	1,820,000	2.4	105,000	—	115,000	—	68,000	—	86.53

(注)直前に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更

- ① IFRSにより要求される会計方針の変更 : 有  
② ①以外の会計方針の変更 : 無  
③ 会計上の見積りの変更 : 無

(注) 詳細は、添付資料9ページ「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項」をご覧ください。

(3) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	28年3月期1Q	790,004,295 株	27年3月期	789,923,595 株
② 期末自己株式数	28年3月期1Q	6,784,759 株	27年3月期	4,032,165 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	28年3月期1Q	785,026,072 株	27年3月期1Q	787,728,067 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

・この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点においては、レビュー手続は一部終了していません。なお、レビュー手続を終了後、8月10日に四半期報告書を提出する予定です。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載の「業績予想」は、現時点で入手可能な情報と前提条件に基づく見込みであり、その実現を約束する趣旨ではございません。実際の業績は事業環境の変化や為替変動など様々な要因により変動し、異なる結果を招きうる不確実性を含んでいます。業績予想を修正すべき重大な要因が発生した場合には、速やかにご報告いたします。

・「業績予想」の内容ならびに実質的な事業活動のパフォーマンスを表す「経営指標」等については、添付資料7ページの「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご参照下さい。

・本日7月30日(木)開催の決算説明カンファレンスコールにおける資料(決算補足説明資料)、説明内容および主な質疑応答については、速やかに当社のホームページに掲載致します。

(当社ホームページ)

<http://www.takeda.co.jp/investor-information/results/>



































(3) 医療用医薬品 海外主要品目売上高(地域別)

(億円)

品目 (薬効分類)	地域	前第1四半期 (自2014年4月1日 至2014年6月30日)	当第1四半期 (自2015年4月1日 至2015年6月30日)	対前年同期	
				金額	増減率
エンティビオ (潰瘍性大腸炎・ クローン病治療剤)	米国	4	120	116	－%
	欧州およびカナダ	0	39	39	－%
	新興国	－	2	2	－%
	海外一計	4	162	157	－%
パントプラゾール (消化性潰瘍治療剤)	米国	17	17	0	1.8%
	欧州およびカナダ	126	118	△8	△6.2%
	新興国	115	107	△8	△6.9%
	海外一計	258	243	△15	△6.0%
リユープロレリン (前立腺がん・乳がん・ 子宮内膜症治療剤)	米国	33	47	14	42.9%
	欧州およびカナダ	89	87	△2	△2.3%
	新興国	30	41	12	39.0%
	海外一計	152	175	24	15.6%
ランソプラゾール (消化性潰瘍治療剤)	米国	60	91	30	50.5%
	欧州およびカナダ	32	31	△0	△0.6%
	新興国	23	27	4	18.5%
	海外一計	115	149	34	30.0%
カンデサルタン (高血圧症治療剤)	海外一計	76	66	△10	△12.8%

(注)1. 上表には、「米国」、「欧州およびカナダ」、「新興国(中南米、ロシア/CIS、アジア、その他)」の各地域で販売している主要品目を掲載しています。  
なお、日本における売上収益は上表に含まれておりません。

2. カンデサルタンは、ライセンス先への輸出売上高を単一ルートで計上しているため、「海外一計」の1区分で表示しています。

3. 知的財産権収益および役員収益を含めて表示しております。

(4) 医療用医薬品 米国主要品目売上高(現地通貨ベース)

(百万米ドル)

品目	発売年	薬効分類	前第1四半期 (自2014年4月1日 至2014年6月30日)	当第1四半期 (自2015年4月1日 至2015年6月30日)	対前年同期	
					金額	増減率
バルケイド	2008	多発性骨髄腫治療剤	251	276	24	9.7%
デクスラント	2009	逆流性食道炎治療剤	108	135	27	25.1%
エンティビオ	2014	潰瘍性大腸炎・ クローン病治療剤	4	99	95	－%
コルクリス	2012	痛風治療剤	140	92	△48	△34.2%
ユーロリック	2009	痛風・高尿酸血症治療剤	64	81	17	26.3%
アミティーザ	2006	便秘症治療剤	64	77	13	20.7%
プレバシド(ランソプラゾール)	1995	消化性潰瘍治療剤	57	73	16	27.7%
プリンテリックス	2014	大うつ病治療剤	22	42	20	88.1%
コントレイブ	2014	肥満症治療剤	－	16	16	－%

(注) 知的財産権収益および役員収益を除いた製品売上高を表示しております。

(5) 医療用医薬品 国内主要品目売上高

(億円)

品目(一般名)	発売年月	薬効分類	前第1四半期 (自2014年4月1日 至2014年6月30日)	当第1四半期 (自2015年4月1日 至2015年6月30日)	対前年同期	
					金額	増減率
プロプレス(カンデサルタン)	1999.6	高血圧症治療剤	288	161	△128	△44.3%
アジルバ	2012.5	高血圧症治療剤	97	141	44	45.1%
リュープリン(リュープロレリン)	1992.9	前立腺がん・乳がん・ 子宮内膜症治療剤	144	133	△10	△7.3%
タケブロン(ランソプラゾール)	1992.12	消化性潰瘍治療剤	140	110	△30	△21.4%
エンブレル	2005.3	抗リウマチ剤	94	104	10	10.3%
ネシーナ	2010.6	糖尿病治療剤	97	95	△2	△2.3%
ロトリガ	2013.1	高脂血症治療剤	19	50	31	168.4%
ベクティビックス	2010.6	結腸・直腸がん治療剤	43	47	4	9.0%
レミニール	2011.3	アルツハイマー型 認知症治療剤	29	39	10	36.4%
ベネット	2002.5	骨粗鬆症治療剤	26	25	△1	△3.6%
バイスン	1994.9	糖尿病治療剤	31	24	△7	△23.2%
アクトス(ピオグリタゾン)	1999.12	糖尿病治療剤	31	24	△7	△23.2%
ロゼレム	2010.7	不眠症治療剤	15	18	3	21.0%
アドセトリス	2014.4	悪性リンパ腫治療剤	6	8	2	30.5%
タケキャブ	2015.2	酸関連疾患治療剤	—	5	5	—%

(6) 一般用医薬品 主要品目売上高

(億円)

品目	前第1四半期 (自2014年4月1日 至2014年6月30日)	当第1四半期 (自2015年4月1日 至2015年6月30日)	対前年同期	
			金額	増減率
アリナミン錠剤類	47	69	22	47.9%
アリナミンドリンク類	43	40	△3	△7.7%
ピオフェルミン類	19	22	3	16.1%
ベンザ類	11	12	1	8.0%
ボラギノール類	9	11	2	17.0%

(7) 開発の状況

この表では当社が明確に効能取得をターゲットとしている主な効能を掲載しています。これらの効能以外においても、将来の効能追加の可能性を検討するために臨床試験を行っています。

■ 日米欧

開発コード ＜一般名＞ 製品名(国・地域)	薬効(剤形)	適応症	開発段階	自社品/導入品
<b>MLN9708</b> <b>&lt;ixazomib&gt;</b>	プロテアソーム阻害薬 (経口剤)	再発・難治性の多発性骨髄腫	米国 申請(15/7) 欧州 P-III 日本 P-III	自社品
		初発の多発性骨髄腫	米国 P-III 欧州 P-III 日本 P-III	
		自家造血幹細胞移植後の初発の多発性骨髄腫の維持療法	米国 P-III 欧州 P-III 日本 P-III	
		自家造血幹細胞移植未実施の初発の多発性骨髄腫の維持療法	米国 P-III 欧州 P-III 日本 P-III	
		再発・難治性の原発性 AL アミロイドーシス 固形がん	米国 P-III 欧州 P-III 米国 P-I	
<b>TAK-816</b>	Hib ワクチン (注射剤)	Hib 感染症予防	日本 申請(13/9)	導入品 (GSK 社)
<b>&lt;glatiramer acetate&gt;</b>	免疫調整薬(注射剤)	多発性硬化症の再発予防	日本 申請(14/12)	導入品 (Teva 社)
<b>MLN0002</b> <b>&lt;vedolizumab&gt;</b> ENTYVIO®(米国、欧州)	ヒト化抗 α4β7 インテグリン モノクローナル抗体 (注射剤)	潰瘍性大腸炎 クローン病	日本 P-III 日本 P-III	自社品
<b>Lu AA21004</b> <b>&lt;vortioxetine&gt;</b> BRINTELLEX®(米国)	多重作用メカニズム型抗うつ薬 (経口剤)	大うつ病	日本 P-III	導入品 (Lundbeck 社)
<b>AMG 386</b> <b>&lt;trebananib&gt;</b>	アンジオポエチン阻害 ペプチボディ(注射剤)	卵巣がん	日本 P-III	導入品 (Amgen 社)
<b>TVP-1012</b> <b>&lt;rasagiline&gt;</b>	モノアミン酸化酵素 B(MAO-B) 阻害薬(経口剤)	パーキンソン病	日本 P-III	導入品 (Teva 社)
<b>MLN8237</b> <b>&lt;alisertib&gt;</b>	オーロラ A キナーゼ阻害薬 (経口剤)	小細胞肺癌	米国 P-II 欧州 P-II	自社品
		非ホジキンリンパ腫	日本 P-I	
		固形がん	日本 P-I	
<b>TAK-264</b> <sup>*1</sup> <b>&lt;-&gt;</b>	抗 GCC 抗体薬物複合体 (注射剤)	胃がん	米国 P-II 欧州 P-II 日本 P-I	自社品
		膵臓がん	米国 P-II 欧州 P-II	
<b>TAK-385</b> <b>&lt;relugolix&gt;</b>	LH-RH アンタゴニスト (経口剤)	前立腺がん	米国 P-II 欧州 P-II 日本 P-I	自社品
		子宮内膜症	日本 P-II	
		子宮筋腫	日本 P-II	
<b>TAK-228</b> <sup>*2</sup> <b>&lt;-&gt;</b>	mTORC1/2 阻害薬(経口剤)	乳がん	米国 P-II 欧州 P-II	自社品
		腎がん	米国 P-II	
		子宮内膜がん	米国 P-II	
		固形がん	— P-I	

\*1 旧名:MLN0264

\*2 旧名:MLN0128

開発コード／製品名 ＜一般名＞	薬効(剤形)	適応症	開発段階	自社品/導入品
<b>TAK-272</b> ＜-＞	直接的レニン阻害薬 (経口剤)	2型糖尿病性早期腎症 高血圧症	日本 P-Ⅱ — P-Ⅰ	自社品
<b>TAK-003</b>	4価 Dengue 熱ワクチン (注射剤)	Dengue 熱の予防	— P-Ⅱ	自社品
<b>TAK-214</b>	ノロウイルスワクチン (注射剤)	ノロウイルスによる急性胃腸炎の予防	— P-Ⅱ	自社品
<b>TAK-114</b>	炎症性サイトカイン抑制薬 (経口剤)	潰瘍性大腸炎	米国 P-Ⅱ 欧州 P-Ⅱ 日本 P-Ⅰ	導入品 (Natrogen 社)
<b>MT203</b> ＜namilumab＞	GM-CSF モノクローナル抗体 (注射剤)	乾癬 関節リウマチ	欧州 P-Ⅱ 欧州 P-Ⅱ 日本 P-Ⅰ	導入品 (Amgen 社)
<b>TAK-850</b>	インフルエンザワクチン (注射剤)	インフルエンザウイルスの A 亜型および B 亜型によるインフルエンザの予防	日本 P-Ⅰ/Ⅱ	導入品 (Baxter 社)
<b>TAK-063</b> ＜-＞	PDE10A 阻害薬 (経口剤)	統合失調症	— P-Ⅰ	自社品
<b>TAK-659</b> ＜-＞	SYK キナーゼ阻害薬 (経口剤)	固形がん、血液がん	— P-Ⅰ	自社品
<b>TAK-233</b> ＜-＞	(経口剤)	—	— P-Ⅰ	自社品
<b>TAK-935</b> ＜-＞	CH24H 阻害薬(経口剤)	グルタミン酸興奮毒性に関連する疾患	— P-Ⅰ	自社品
<b>TAK-058</b> ＜-＞	5-HT <sub>3</sub> 受容体アンタゴニスト (経口剤)	統合失調症、特に統合失調症に伴う 認知機能障害	— P-Ⅰ	自社品
<b>TAK-079</b> ＜-＞	細胞溶解性モノクローナル 抗体(注射剤)	関節リウマチ、全身性エリテマトーデス	— P-Ⅰ	自社品
<b>TAK-020</b> ＜-＞	ブルトン型チロシンキナーゼ阻害 薬(経口剤)	関節リウマチ	— P-Ⅰ	自社品
<b>TAK-021</b>	EV71 ワクチン (注射剤)	エンテロウイルス 71 により発症する 手足口病の予防	— P-Ⅰ	自社品
<b>TAK-924</b> <sup>*3</sup> ＜-＞	NEDD8 活性化酵素阻害薬 (注射剤)	進行性がん、急性骨髄性白血病	— P-Ⅰ	自社品
<b>TAK-117</b> <sup>*4</sup> ＜-＞	PI3K α アイソフォーム阻害薬 (経口剤)	固形がん、非小細胞肺がん	— P-Ⅰ	自社品
<b>TAK-243</b> <sup>*5</sup> ＜-＞	ユビキチン活性化酵素阻害薬 (注射剤)	固形がん	— P-Ⅰ	自社品
<b>TAK-648</b> ＜-＞	PDE4 阻害薬(経口剤)	—	— P-Ⅰ	自社品
<b>TAK-915</b> ＜-＞	PDE2A 阻害薬(経口剤)	統合失調症に伴う認知機能障害および 陰性症状	— P-Ⅰ	自社品
<b>TAK-580</b> <sup>*6</sup> ＜-＞	pan-Raf キナーゼ阻害薬 (経口剤)	固形がん	— P-Ⅰ	導入品 (Sunesis 社)
<b>Lu AA24530</b> ＜-＞	多重作用メカニズム型抗うつ薬 (経口剤)	大うつ病、全般性不安障害	米国 P-Ⅰ 日本 P-Ⅰ	導入品 (Lundbeck 社)

\*3 旧名:MLN4924

\*4 旧名:MLN1117

\*5 旧名:MLN7243

\*6 旧名:MLN2480

開発コード／製品名 ＜一般名＞	薬効(剤形)	適応症	開発段階	自社品/導入品
AMG 403 ＜fulranumab＞	ヒト型抗ヒト神経成長因子(NGF) モノクローナル抗体(注射剤)	疼痛	日本 P-I	導入品 (Amgen 社)

### ■ 承認済みの化合物の剤型・効能追加

開発コード ＜一般名＞ 製品名(国・地域)	薬効	適応症/剤型	開発段階	自社品/導入品
TAP-144-SR ＜leuprorelin acetate＞ リュープリン®(日本) LUPRON DEPOT®(米国) ENANTONE®ほか(欧州)	LH-RH アゴニスト	前立腺がん、閉経前乳がん (6ヶ月製剤)	日本 申請(14/9)	自社品
TAK-390MROD ＜dexlansoprazole＞ DEXILANT®(米国)	プロトンポンプ阻害薬	酸関連疾患(口腔内崩壊錠)	米国 申請(15/3)	自社品
SGN-35 ＜brentuximab vedotin＞ アドセトリス®(欧州、日本)	CD30 モノクローナル抗体薬物 複合体	自家造血幹細胞移植後のホジキンリンパ腫 再発性皮膚 T 細胞性リンパ腫 ホジキンリンパ腫(フロントライン適応) 成熟型 T 細胞性リンパ腫(フロントライン適応)	欧州 申請(15/3) 欧州 P-III 欧州 P-III 日本 P-III 欧州 P-III 日本 P-III	導入品 (Seattle Genetics 社)
SYR-322 ＜alogliptin＞ ネシーナ®(米国、日本) VIPIDIA®(欧州)	DPP-4 阻害薬	2型糖尿病(メホルミンとの合剤)	日本 P-III	自社品
TAK-536 ＜azilsartan＞ アジルバ®(日本)	アンジオテンシン II 受容体拮抗薬	高血圧症(アムロジピンとヒドロクロロチアジド との合剤)	日本 P-III	自社品
AD-4833/TOMM40	インスリン抵抗性改善薬/ バイオマーカー	アルツハイマー病に起因する 軽度認知機能障害の発症遅延	米国 P-III 欧州 P-III	導入品 (Zinfandel 社)
Lu AA21004 ＜vortioxetine＞ BRINTELLIX®(米国)	多重作用メカニズム型抗うつ薬	全般性不安障害 成人における注意欠陥多動性障害	米国 P-III 米国 P-II	導入品 (Lundbeck 社)
＜lubiprostone＞ AMITIZA®(米国)	クロライドチャネル開口薬	新規製剤 小児機能性便秘症	米国 P-III 米国 P-III	導入品 (Sucampo 社)
＜febuxostat XR＞ ULORIC®(米国)	非プリン型選択的キサンチン オキシダーゼ阻害薬	高尿酸血症(徐放製剤)	米国 P-III	導入品 (帝人)
NE-58095NF ＜risedronate＞ ベネット®(日本)	骨吸収抑制剤	骨粗鬆症(剤型追加/用法・用量変更)	日本 P-II/III	導入品 (味の素製薬)
MLN0002 ＜vedolizumab＞ ENTYVIO®(米国、欧州)	ヒト化抗 $\alpha 4\beta 7$ インテグリン モノクローナル抗体	潰瘍性大腸炎、クローン病 (皮下投与製剤)	— P-I	自社品

**■ 最近のステージアップ品目 ※2014年度決算開示(2015年5月15日)以降の変更点**

開発コード <一般名>	効能	国/地域	ステージ
MLN9708 <ixazomib>	再発・難治性の多発性骨髄腫	米国	申請(15/7)
TAK-228 <->	腎がん	米国	P-II
TAK-228 <->	子宮内膜がん	米国	P-II
TAK-648 <->	—	—	P-I
TAK-915 <->	統合失調症に伴う認知機能障害および陰性症状	—	P-I

**■ 開発中止品目 ※2014年度決算開示(2015年5月15日)以降の情報**

開発コード <一般名>	効能 (開発ステージ)	中止および終了理由
TAK-137 <->	精神疾患、神経疾患(P-I)	薬物動態から、セーフティマージンを踏まえ、中止を決定。
TAK-733 <->	固形がん(P-I)	ポートフォリオ戦略に基づき、中止を決定。

**■ ブラジル・中国・ロシアにおける申請・承認**

タケダは、新興国を含め、グローバルにおいて、申請・承認に向けて取り組んでおります。新興国の中でも、重要な新興国市場であるブラジル、中国およびロシアにおける、申請・承認の状況は以下の通りです。

地域	開発コード/製品名 (開発段階)
ブラジル	SYR-322/メトホルミンとの合剤 (申請 13/7)、SYR-322/ピオグリタゾンとの合剤 (申請 13/12)、TAK-375*7 (申請 14/3)、MLN0002(承認 15/5)
中国	SGN-35 (申請 13/5)
ロシア	SYR-322/メトホルミンとの合剤 (申請 14/3)、SGN-35 (申請 14/5)、MLN0002 (申請 15/6)

\*7 TAK-375 <ramelteon> MT<sub>1</sub>/MT<sub>2</sub>受容体作動薬(経口剤) 不眠症